

【スタッフのコメント】

■撮影監督 山崎裕

近浦監督から映画『CHENG LIANG』のお話を頂いた。監督とは、私が撮影を担当した映画 Narrative 2016『東の狼』（P/河瀬直美、D/カルロス・M・キンテラ）が昨年9月奈良国際映画祭でワールドプレミアされた際のレセプションで、主演の藤竜也さんに紹介して頂き、会っていた。

今回は中国からの研修生の若者に焦点を合わせた作品だ。

研修生制度を利用してアジアやアフリカから、多くの若者たちが日本に来ているが、彼らは様々な問題を抱えている。私自身もこの状況に興味を持っていたし、ドキュメンタリーの撮影経験も活かせるとも思い、是非参加したいと思った。主演が中国のルー・ユーライさんと藤竜也さんというのも魅力的だ。

日本と中国から、アジアへ、そして世界へ、と広がる作品になれば嬉しい。

■美術監督 部谷京子

近浦啓監督『CHENG LIANG』のオファーを頂いた。中国人実習生の話だという。心が騒いだ。

実は親の住む瀬戸内海の小さな島で中国人実習生による凄惨な事件が昨年起きていた。瞬時にこの犯人と主人公が重なった。

近浦監督とお会いしてパイロット版とも呼ぶべき短編映画『SIGNATURE』を観た。

映し出される切ない表情。

しかし、そこには生きることと戦う確かな姿勢があった。そして美しい映像。

この映画をやりたい！と心から思った。

今私は山形県で蕎麦屋を作っている。主人公の勤務先で店の主人は藤竜也さんだ。地域の方々に支えられながらの作業。本番の撮影が待ち遠しくてならない。

撮影のある日本、中国を超えて世界に飛び出す作品になってほしいと心から願う。

【プロフィール】

監督 近浦啓

2006年クレイテプス設立。2013年に、藤竜也を主演に迎えた短編映画「Empty House」で映画監督としてキャリアをスタート。第2作の短編映画「The Lasting Persimmon」(邦題「なごり柿」)は、世界最高峰の短編映画祭であるクレルモン=フェラン国際短編映画祭インターナショナルコンペティション部門ノミネート他、世界各国の国際映画祭へ入選を重ねる。第3作目の短編映画「SIGNATURE」は、ロカルノ国際映画祭、トロント国際映画祭のコンペティション部門にノミネートされ、高い評価を得ている。

主演 ルー・ユウライ / Lu Yulai

2005年、映画「THE PEACOCK」で俳優デビュー。これまでの出演作は、ベルリン国際映画祭、ベネチア国際映画祭、カンヌ国際映画祭など、多数の国際映画祭で上映される。また、カンヌ国際映画祭の60周年記念に製作されたチャン・イーモウ監督の短編映画「映画を観る」において主演を務める。

主演 藤竜也

大学時代にスカウトされ、日活に入社。1962年、「望郷の海」で役者デビュー。大島渚監督の問題作「愛のコリーダ」(1976)で報知映画賞最優秀主演男優賞を受賞。その後も続けて大島渚監督「愛の亡霊」(1978)、東陽一監督「化身」(1986)などに出演し、日本を代表する俳優として確固たる地位を築く。70代を迎えた現在も、北野武監督「龍三と七人の子分たち」(2015)、ドラマ「はじめまして、愛しています。」(2016)の他、映画やドラマに途切れることなく出演し、精力的に活動している。最新出演作は、カンヌ国際映画祭オフィシャルコンペティションノミネート作品、河瀬直美監督「光」。

出演 松本紀保

歌舞伎俳優・9代目松本幸四郎の長女。妹は女優・松たか子、弟は歌舞伎俳優・市川染五郎。日本舞踊松本流の名取で、松本幸紀の名を持つ。1995年のTPT公演『チェンジリング』で舞台デビュー。97年、NHK情報番組『土曜元気市』ではキャスターを務める。近年は舞台やドラマを中心に活躍。

撮影監督 山崎裕

日本大学芸術学部映画学科卒業後、フリーの撮影助手を経て65年、長編記録映画『肉筆浮世絵の発見』でフィルムカメラマンとしてデビュー。以降、テレビやCM、記録映画などで撮影のみならずプロデューサー、ディレクターとしても活躍。99年、是枝裕和監督の『ワンダフルライフ』で初めて劇場用映画の撮影を手がけ、『誰も知らない』(04)『歩いて 歩いて』(07年)『海よりもまだ深く』(16年)など、ほとんどの是枝作品の撮影を担当する。また、河瀬直美監督作品である『沙羅双樹』(03)、『二つ目の窓』(14)などを手がけ、フランスカンヌ国際映画祭でも多くの作品が選出・上映された。

美術監督 部谷京子

1992年 周防正行監督『シコふんじゃった。』で美術監督デビュー。日本アカデミー賞優秀美術賞を10回受賞し、『Shall we ダンス?』、『それでもボクはやってない』で最優秀美術賞を受賞。他の主な作品に『幻の光』『RAMPO』、『河童』、『夏の庭』、『陰陽師』、『陰陽師II』、『金融腐蝕列島(呪縛)』、『突入せよ! あさま山荘事件』、『北の零年』、『壬生義士伝』、『マリと子犬の物語』、『チーム・バチスタの栄光』、『容疑者Xの献身』、『ハナミズキ』、『雷桜』、『少女たちの羅針盤』、『ロック〜わんこの島〜』、『天地明察』『あん』など。2008年、広島市民表彰(広島市民賞)受章。2016年、紫綬褒章を受章。

■(参考資料)短編映画『SIGNATURE』

映画『CHENG LIANG』の主人公である中国人の青年が、希望を抱え日本を訪れた初めての日を舞台にした短編映画『SIGNATURE』。

第 70 回ロカルノ国際映画祭及び、トロント国際映画祭 短編コンペティション部門にノミネートが決定！

『SIGNATURE』は、東京 渋谷を舞台に、希望を抱えて日本を訪れるひとりの中国人の若者を主演にした短編映画です。約1年前、長編映画の構想を元に近浦啓の監督・脚本のもと、国際映画祭の舞台でも脚光をあびる中国人俳優ルー・ユーライが主役を演じました。

<トロント国際映画祭 短編部門「SIGNATURE」ページ>

<http://www.tiff.net/tiff/film.html?v=signature>

【ストーリー】

騒々しい渋谷の群衆の中、中国人の若者が、“希望”を暗唱しながら、約束の場所へと向かう。

監督・脚本：近浦啓

出演：Lu Yulai, Tim Ellrich, Laurence Midori Ohta

ほか

2017/日本/カラー/13min/DCP

公式 HP：<http://signature-film.com/>

製作：クレイテプス



製作 クレイテプス株式会社

「世界に鳥肌を」という理念を基に、2006年に東京で設立。デジタル領域から映像分野まで幅広くクリエイションを行うクリエイティブプロダクション。<http://www.creatps.co.jp/>